

# Umbrella Roamingクライアントの重要なファイアウォール変更について

## 内容

---

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[ファイアウォールの変更](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Umbrellaローミングクライアントに適用される重要なファイアウォールの変更について説明します。

## 背景説明

更新：すべてのUmbrellaローミングクライアントは、sync.hydra.opendns.comエンドポイントからのHTTPリダイレクトによって新しい同期先のapi.opendns.comに移行されました。新年になると、クライアントは直接sync.hydra.opendns.comと同期するように移行します。ただし、すべてのクライアントは既にこのホストと同期しているため、その結果として影響は予想されません。

ローミングクライアントの基盤となる同期機能のアップグレードの一環として、Umbrellaに同期するUmbrellaローミングクライアント用の新しいドメインが作成されました。この変更により、同期の応答が速くなり、ダッシュボードのクライアントのローミングステータスの更新が可能になります。このドメインがファイアウォールで許可されるようにするには、操作が必要です。

## ファイアウォールの変更

変更は、allow TCP 443 to sync.hydra.opendns.com (双方向)

sync.hydra.opendns.comは、すべて146.112.63.0/24 IP範囲内の複数のIPアドレスに解決できます。sync.hydra.opendns.comのIPアドレスはユニキャストであり、変更される可能性があるため、この範囲全体を追加することをお勧めします。現在、このドメインが解決する4つのIPアドレスは、146.112.63.3 ~ 146.112.63.9および146.112.63.11 ~ 146.112.63.13です。

この変更を行わないと、ローミングクライアントが同期できなくなり、ダッシュボードから取得した内部ドメインのリストが失われる可能性があります。

(通常はGPOを使用して) ユーザレベルで設定されたHTTPプロキシを使用する場合、「SYSTEM」ユーザもプロキシを使用するように設定されていることを確認する必要があります。ローミングクライアントをAPIと正常に同期させるには、ファイアウォールに次のルールがすべて必要です。

ポート	プロトコル	宛先
80	TCP	ocsp.digicert.com および crl4.digicert.com
443	TCP	67.215.92.201、67.215.92.210、sync.hydra.opendns.com、ocsp.digicert.com、 および crl4.digicert.com

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。